

1. 協会賞（2009年度審査決定・2010年度表彰）

（1）受賞

- ・鹿島みづき 愛知淑徳大学図書館
- ・図書「レファレンスサービスのための主題・主題分析・統制語彙」刊行
- ・部門：第1部（図書館学の研究・調査業績）（2）図書館技術部門
（採択理由）

- ①主題アクセス、主題分析に注目した著者の研究成果をレファレンスに活かして丁寧に書かれた著作として評価する。
- ②論理的に章を組み立て、事例も豊富に含め、レファレンス担当者に新たな気付きをもたらす著作といえる。
- ③米国議会図書館件名標目表（LCSH）に特化しているため、和書には応用しにくいところが難点だが、主題分析の考え方を知るうえで大変有用である。
- ④内容的には実用書なのか、教科書なのか、あるいは研究書なのかあいまいであるという指摘もあった。

近年の著者の活動をみると、推薦書にあるとおり、パスファインダーの作成やMODSに関する論文や発表等、図書館界への貢献は大きい。そうした業績も勘案し、「申し合わせ事項」の採択可否ポイントの（1）の（イ）および（ウ）に該当するものとし、協会賞に値すると判断した。

（2）審査経緯

2010年1月29日に受賞候補者の推薦を締め切ったところ2件の応募があり、2月26日開催の2009年度第1回協会賞審査委員会にて審議された結果が3月5日開催の2009年度第2回東西合同役員会に答申され、協議した結果、2009年度協会賞に『採択』と決定した。

（参考）「申し合わせ事項」の採択の可否ポイント

<「協会賞」の審査にあたっての協会賞審査委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項（2006年度第1回東西合同役員会承認）より抜粋>

当面、下記の「採択可否のポイント」および過去の審査における採択の状況をもって今後の判断基準とし、かつ、推薦されるときを目安に資することにする。

（1）規程第3条の第1部（図書館学の研究・調査業績）

採択可否のポイント

- （ア）画期的な創意がみられること。そのノウハウが各加盟館において多大に生かされることが想定されるものであること。建造物にかかわる内容の場合も同様とする。
- （イ）研究活動が長年にわたっている場合、その成果が集積され推薦年度に評価できる一定の成果がみられること。
- （ウ）過去に複数論文を発表していて、推薦年度において発表された論文が同種のテーマであり、かつ、その内容がユニークなうえに将来に対して示唆に富んだものであること。
- （エ）調査業績の結果が、多くの大学図書館において参考に資せると思料できること。
- （オ）ハンドブックのように世に出ることによって、各種図書館殊に大学図書館において大

変役立つものと思われること。

なお、刊行物または論文が当該推薦にかかる時、これが本協会の研究助成を受けて刊行または掲載されている場合であっても協会賞の授与対象とする。

(2) 規程第3条の第2部（経営管理業績・協会活動業績）

採択可否のポイント

規程第3条第1項第(4)の3にかかる、本協会への貢献に関する審査のポイントは、下記の条件を全て満たしている者とする。

(ア) 本協会加盟図書館で30年以上の勤務者。

(イ) 前項の期間において、

①本協会が設置する委員会または過去に設置していた委員会の委員の任期、②本協会が委員を派遣している委員会または派遣していた委員会の委員の任期、および③会長校または地区部会長校の会務において中心的役割を果たした期間の全てを通算して15年以上となる者。

ただし、地区部会および地区協議会が設置している委員会の任期は含めないものとする。

(ウ) 前項の期間の活動において、リーダーシップを発揮して大学図書館の発展に貢献したことが顕著であった者。

なお、上記(イ)および(ウ)の貢献が通算15年相当であっても、勤続が30年に満たない者の場合は、審査委員会はその採択を否とするが、審査委員会が審査の付託を受けず、役員会において特別の表彰を議決された場合は、この限りではない。

また、規程第3条第(4)の1並びに同(4)の2の部門については、上記(1)に準じて判断するものとする。

2. 研究助成（2010年度助成対象：2008年度、2009年度決定）

(1) 阿部伊作 東京基督教大学図書館

1) 研究テーマ（個人研究）

「図書館と史料保存機関の補完的史資料の保存・管理についての研究」

2) 助成期間：2年：2009年度～2010年度

(2) 相田芙美子（研究代表者）・古庄敬文・渡邊浩之・小川ゆきえ・山下大輔（共同研究者） 西南学院大学図書館

1) 研究テーマ（共同研究）

「ラーニングコモンズの要素分析 ―日本における導入を前提として―」

2) 助成期間：2年：2009年度～2010年度

(3) 植松久子 長崎ウエスレヤン大学附属図書館

1) 研究テーマ（個人研究）

「小規模大学図書館の特性を活かした学生との協働による学びのコミュニティ形成 ―読書ボランティア養成を通じた学生の読書環境の充実―」

2) 助成期間：1年：2010年度